

会社概要

 日本カーバイド工業株式会社

会社情報



(2025年3月末日現在)

商号	日本カーバイド工業株式会社 (NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO., INC.)
本社	東京都港区港南2丁目16番2号
設立	1935年
操業	1936年
資本金	7,797,898,752円
発行済 株式数	9,419,659株
従業員数	連結 3,312名 単体522名
事業内容	電子・機能製品事業、 フィルム・シート製品事業 建材関連事業 エンジニアリング事業



代表取締役社長 社長執行役員 CEO
杉山 孝久

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会：毎年6月
基準日
定時株主総会：3月31日
期末配当：3月31日
中間配当：9月30日
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行(株)
単元株式数：100株
発行可能株式総数：12,000,000株
発行済株式総数：9,419,659株
株主数：11,248名（前期末比359名増）

国内ネットワーク



- 国内 6拠点（本社・営業所1拠点・工場2拠点・製造所1拠点・研究所1拠点）
- 主要連結子会社 4社





世界10か国で展開

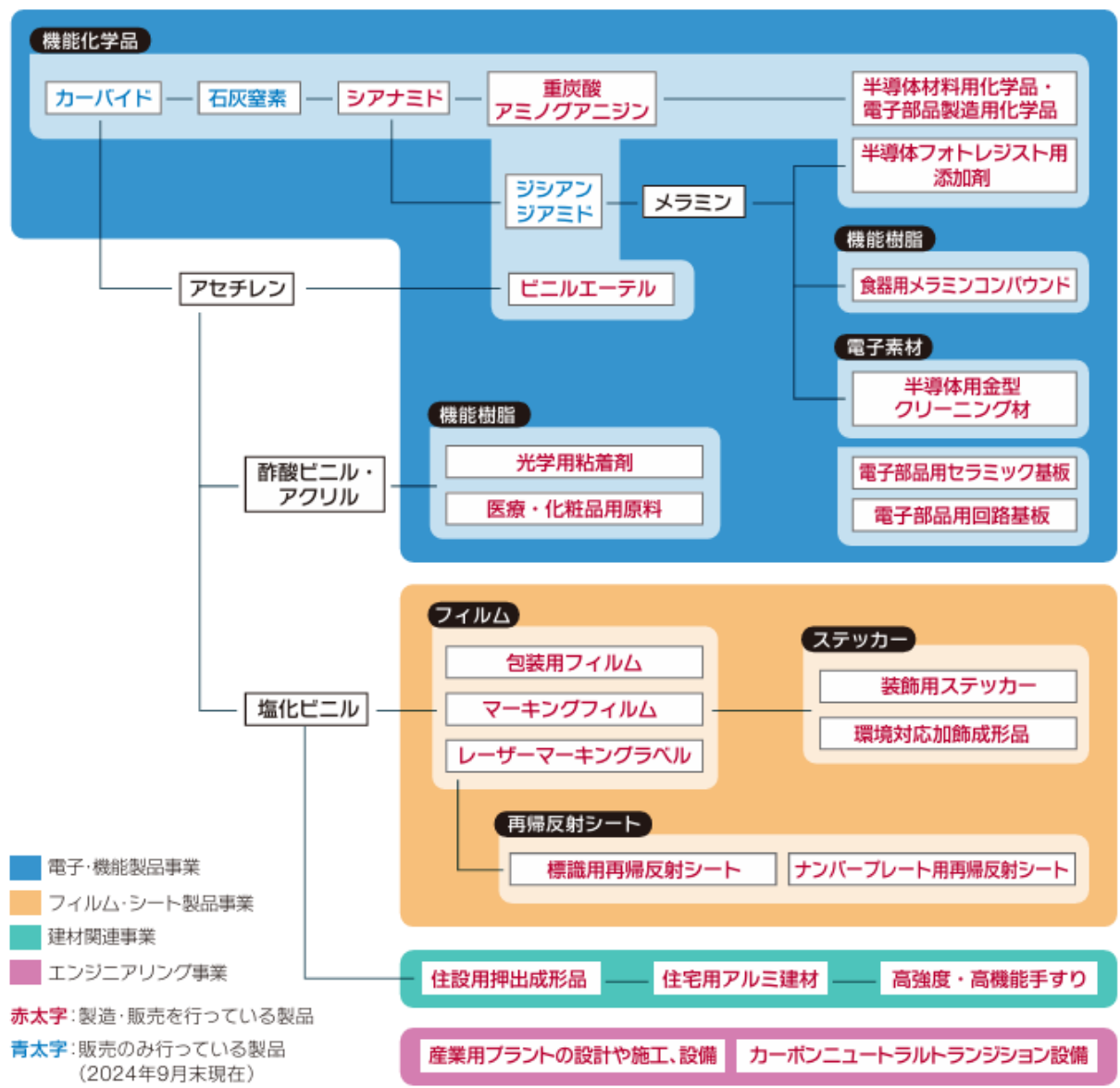




1935年、カーバイドの原料である良質な石灰岩を安定的に調達でき、生成に必要なエネルギーを豊富な水資源による水力発電から得られる富山県魚津市に日本カーバイド工業は設立されました。当時、カーバイドを原料としたアセチレン誘導工業は化学工業の最先端でした。



カーバイドから始まる製品と技術の流れ

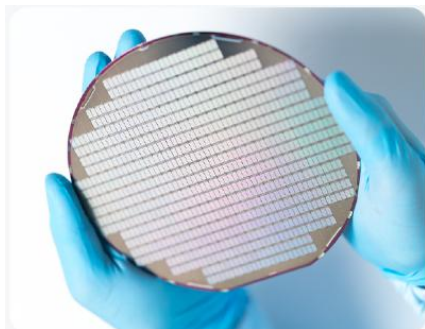


事業展開

1、当社グループの持つ高シェア製品

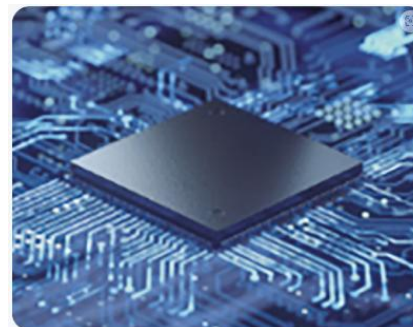


当社グループには世界トップクラスのシェアを持つ多くの製品があります。



半導体分野向け製品
ネガ型フォトレジスト
添加剤

世界トップシェア



半導体分野向け製品
封止剤添加剤

世界トップシェア



半導体分野向け製品
半導体用金型
クリーニング剤

世界トップシェア



車両分野向け製品
ナンバープレート用
再帰反射シート

世界トップシェア



オートバイ向け製品
オートバイ用3Dエンブレム

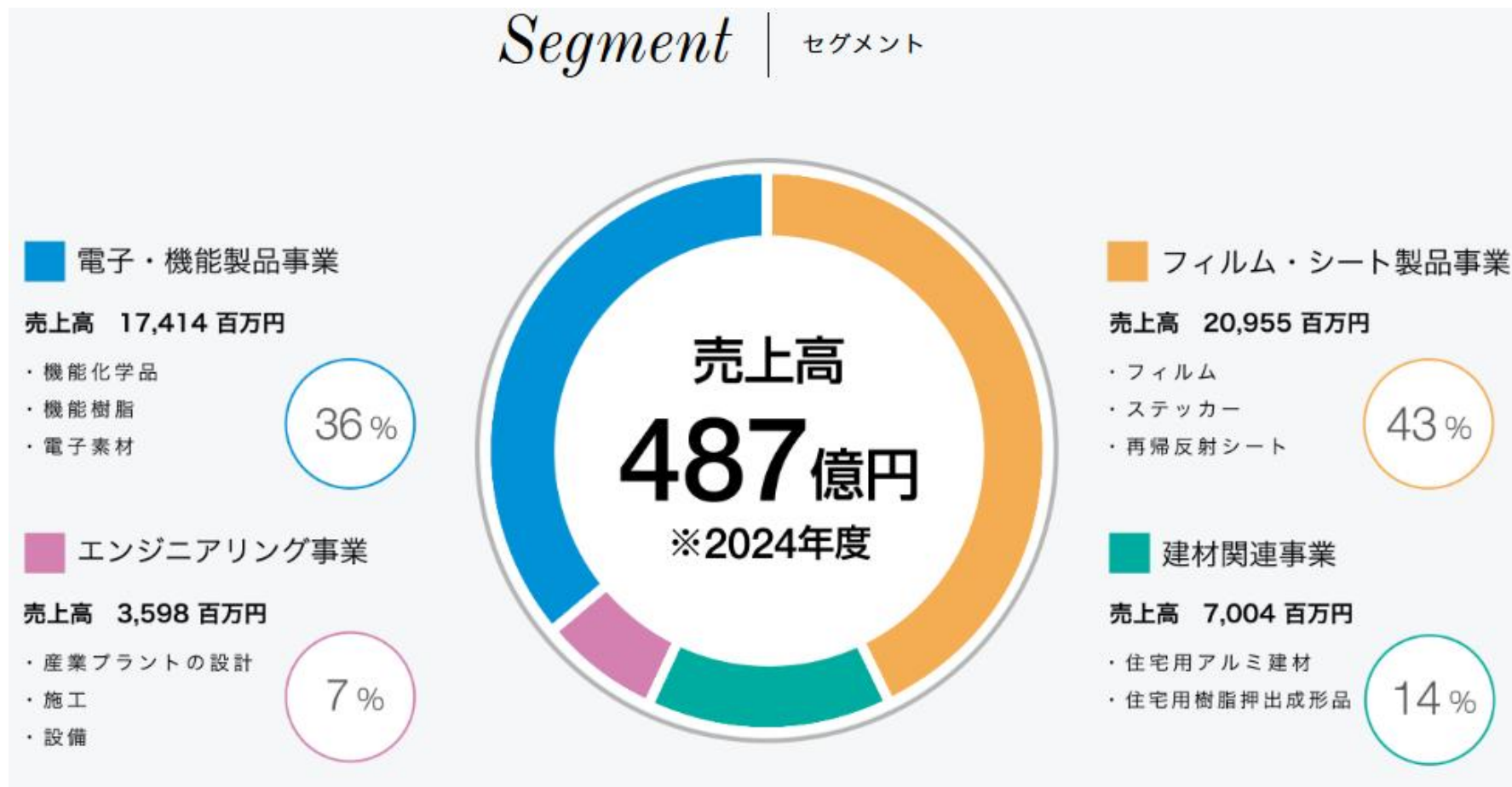
東南アジアトップシェア

【シェアは当社調べ】

2、セグメント別売上高



当社グループは4つのセグメントから構成されています。



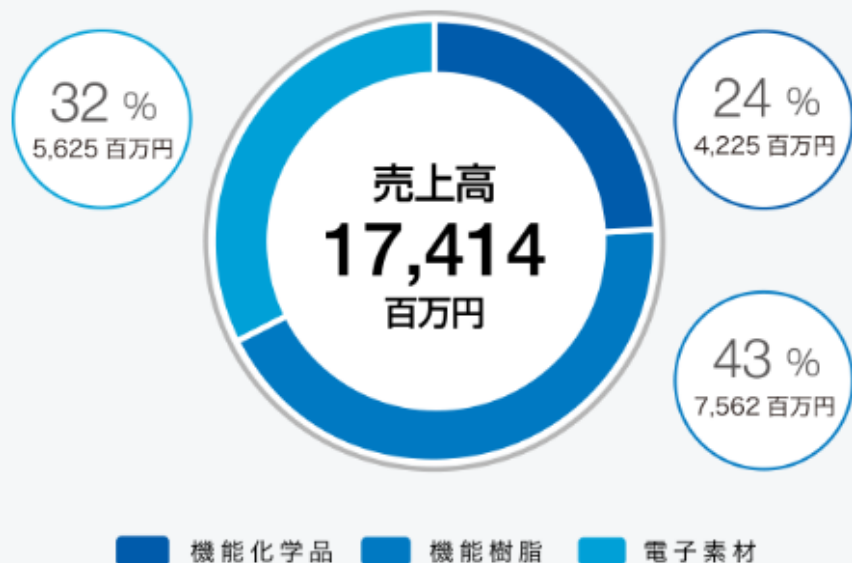
2025年3月期実績



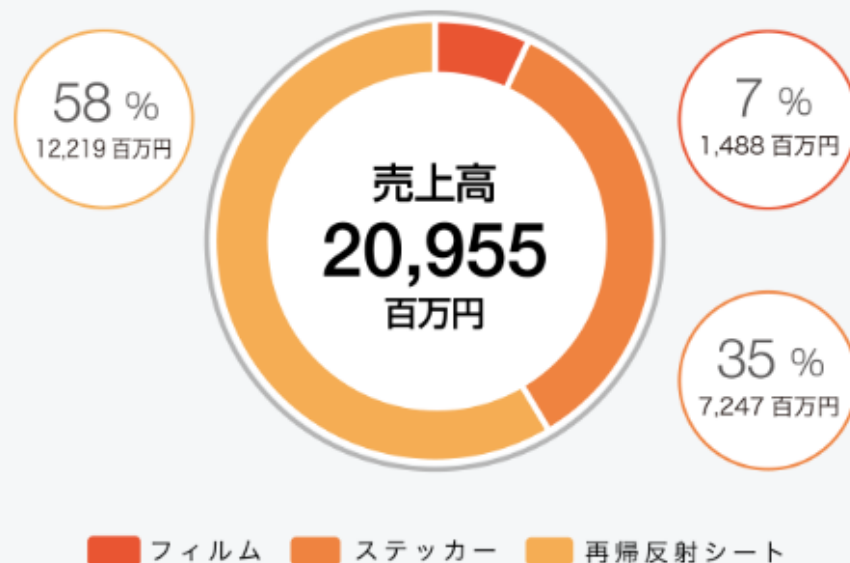
3、カテゴリ別売上高

4つのセグメントのうち、「電子・機能製品事業」と「フィルム・シート製品事業」はそれぞれ3つのカテゴリで構成されています。

電子・機能製品事業



フィルム・シート製品事業

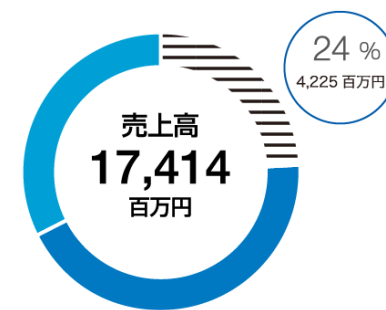


2025年3月期実績



創業当時から培った技術とノウハウで、電子材料をはじめとした様々な原料や薬品を提供

祖業品目である、カーバイドに由来する化合物を保有・使用する高い技術とノウハウを保持しています。カーバイドを起点に、石灰窒素を原料としたシアナミドおよびシアナミド誘導体と、アセチレンを原料としたビニルエーテルが、現在の機能化学品の2つの大きな柱となります。



シアナミドおよびシアナミド誘導体

当社が創業以来得意としているカーバイド・ケミストリーにより製造される化合物です。農薬・肥料用途や医薬品の原料などとしても使われますが、最近では電子材料としての用途が最も多くなっています。半導体の工程材料の原料となったり、シアナミド誘導体を用いることで半導体製品に様々な性能や機能を付与します。

ビニルエーテル

カーバイドから発生するアセチレンガスと各種アルコールを反応させると、様々なビニルエーテルが合成できます。ビニルエーテルは、橋梁やタワーなどに使用される高機能塗料の原料のほか、コンタクトレンズ（軟らかさを出す）やホログラム印刷（特殊なコーティングをする）、乳がんの治療薬の原料などに使用されます。

製品を提供する主な分野

電子材料

塗料原料

農薬

医薬品

生化学

- 汎用のビニルエーテルは世界に数社しかメーカーがありません。さらに当社では多品種のビニルエーテル製品をラインナップしている他、お客様のニーズに応じた特殊なビニルエーテルを合成できるのが大きな強みです。



エレクトロニクス領域に提供する機能化学品製品

半導体分野向け



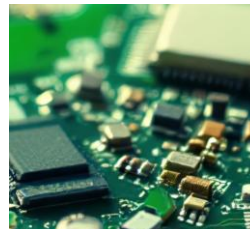
半導体材料用化学品

当社のシアナミド誘導体が、半導体を封止するエポキシ樹脂に添加剤として使用されています

半導体フォトレジスト用添加剤

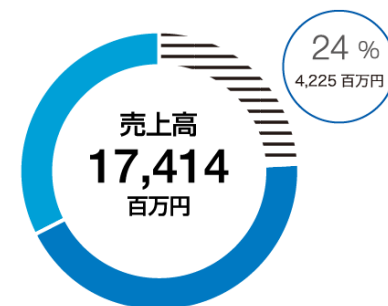
フォトレジストにはポジ型とネガ型があり、主にネガ型で添加剤として使用されています

電子デバイス分野向け



電子部品製造用化学品

当社のシアナミド誘導体が電子部品の基板の表面処理剤として使用されています



- AGC（重炭酸アミノグアニジン）などのシアナミド誘導体は、昨今の半導体の小型化・高密度化に貢献しています。当社のシアナミド誘導体は高純度であることから、半導体業界から高い評価を頂いています。また、シアナミドは非常に取り扱いが難しい化合物であり、これをハンドリングできるのは国内では当社だけです。（当社調べ）
- 当社の半導体フォトレジスト用架橋剤はフォトレジストメーカーの間で広く使われています。ネガ型フォトレジスト添加剤の世界シェアは約70%、メラミン尿素系のフォトレジスト用架橋剤ではオンリーワンの存在です。（当社調べ）
- 機能化学品カテゴリの売上高のうち、エレクトロニクス領域向け製品の割合は約5割です。



あらゆるニーズや商品の「粘着・接着させる」にお応えする、高機能な粘・接着剤

自動車から、テレビやスマートフォン、紙や塗料に繊維、さらにはパップ剤や化粧品まで。

私たちがふだん目にする、使う、身につける、多くの“モノ”を形づくるために、当社の多種多様な「粘・接着剤」が使われています。



粘・接着剤



最も多く出荷されている、テレビ・スマートフォン・タブレット・PCなどの液晶の偏光板に使われる光学フィルム用粘着剤



個人情報保護シール・宅配ラベル・付箋の粘着剤、塗料の原料、繊維や紙の加工、パップ剤の粘着部分などにも使用

食器用 メラミン樹脂



塗料の原料・ コーティング材料

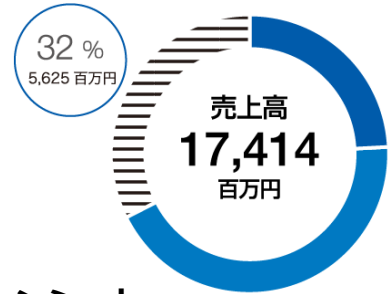


- 当社は特に粘着（すぐに「つく」ことができ、「剥がす」こともできる）に高い技術を誇ります。お客様のニーズに合わせて製品を開発していくビジネスモデルです。
- 「ドラッグマスターファイル（DMF）」に登録している製品もあり、医薬品向けにも提供しています。
- 光学関連分野向け粘・接着剤は近年、中国市場における拡販に注力しています。
- 機能樹脂カテゴリの売上高のうち、光学関連分野向け粘・接着剤及び電子部品用バインダーなどのエレクトロニクス領域向け製品の割合は約4割です。

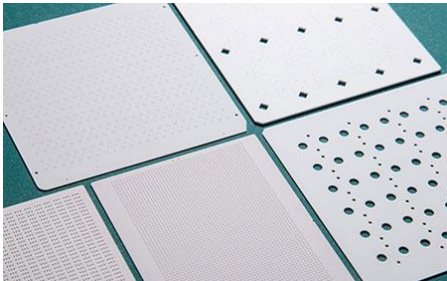


原料の配合・焼成・印刷までワンストップで対応が可能 セラミック基板

暮らしの身近にある、あらゆる電子機器に必要な不可欠な電子部品のベース基板として使われています。

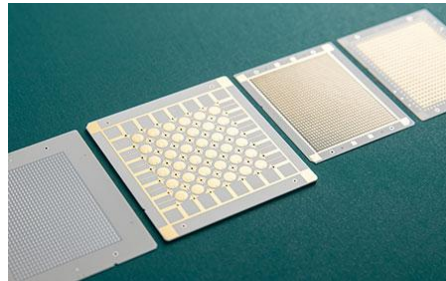


アルミナセラミック基板



チップ抵抗器をはじめ、多くの電子部品に採用されるベース基盤。板の薄板化と精密加工に高い技術力を誇り、電子機器、電子デバイスの小型化・高信頼化に貢献

電子部品用回路基板（厚膜印刷基板）



アルミナセラミック基板に電極と抵抗体、保護膜などを厚膜印刷で形成し、回路化したもの

グリーンシート



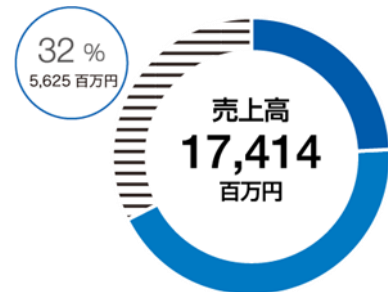
各種原料粉を混ぜたものを練り合わせて形成したシート。焼成するとセラミック基板となる

- 市場の黎明期から40年にわたり製品を供給する、市場のパイオニア的存在です。アルミナ原料の配合から焼成、印刷まで全ての工程を有していることが強みです。
- 基板の薄板化と強靱性に高い技術を有し、高機能チップ抵抗器用アルミナセラミック基板では世界トップのシェアを誇ります。（当社調べ）
- 電子素材カテゴリの売上高のうち、アルミナセラミック基板の割合は約7割です。



半導体製造に“なくてはならない” 半導体向け金型クリーニング材

半導体の製造において、樹脂汚れを除去する「金型のクリーニング材」として当社が開発したメラミン樹脂が活躍しています。半導体業界では「ニカレットECR」という製品名で広く認知されており、確かなクリーニング性能に加え、金型を取り外すことなく洗浄できる優れた作業性から、半導体製造に“なくてはならない存在”という高い評価をいただいています。

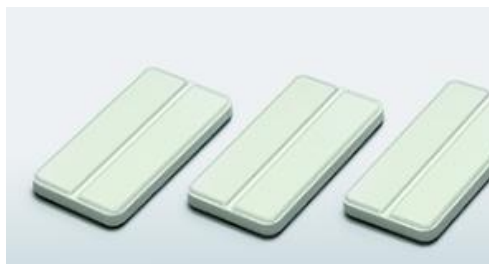


半導体金型クリーニング材



半導体製造工程で、エポキシ樹脂封止剤により発生する金型の汚れを除去するためのクリーニング材。

半導体用金型離型回復材



半導体金型洗浄後に離型効果を回復させるために使用されます。

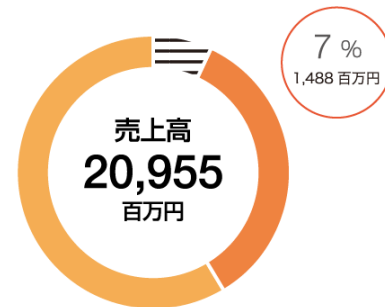
- 半導体用金型クリーニング材は全世界で約50%、No.1のシェアを誇ります。（当社調べ）
- 電子素材カテゴリの売上のうち、半導体向け金型クリーニング材の割合は約2割です。

フィルム・シート事業 【フィルム】



街の彩りから、過酷な環境下のラベルまで。優れた耐候性の高機能フィルム

街で思わず目を引く看板、電車の車体などにも使われる「マーキングフィルム」は、とりどりのカラーとタフな耐候性が特徴。「カラー透明フィルム」や「半透明フィルム」は光源によって鮮明に浮かび上がり、昼夜問わず、カラフルに演出することができます。その他、自動車のラベルにも使用される「レーザーマーキングラベル」、食品の「包装用フィルム」など、毎日をより豊かに彩る、使用シーンや目的に応じた特徴あるフィルムを数多くお届けしています。



マーキングフィルム

耐候性に優れたカラー塩ビフィルムで、「貼る塗料」とも言われます。鉄道・バス・トラックなどのラッピング／自動車の塗装代替／店舗看板／屋内・屋外看板／屋外広告などに使用



レーザーマーキングラベル

シリアルNo.等の個人情報が必要とする認証ラベルや銘板ラベル、生産物の工程管理や製造履歴を残すラベルに最適な材料



包装用フィルム

スーパーや飲食店などで使用される食品包装フィルム

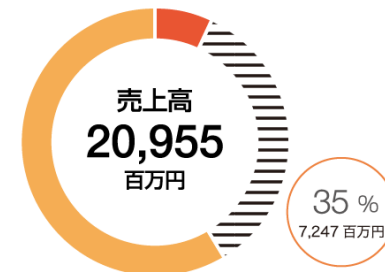
- お客様のご要望に合わせた色を再現する調色技術と粘着剤の自社開発技術を組み合わせ、用途に適した高耐久性のマーキングフィルムを提供しています。
- 優れた印字性、耐熱性、耐久性を持ち、用途により自己破壊性を付与することもできるレーザーマーキングラベルは、国内メーカーとしては当社のみが提供しています。
- フィルムカテゴリの売上のうち、レーザーマーキングラベルの割合は約3割です。

フィルム・シート事業 【ステッカー】



海外5拠点の製造ネットワークで、車体を飾るグラフィック印刷を提供

東南アジアをはじめ世界各国で、ドライブに、通勤の足にと、多くの人の生活に欠かせないオートバイ。各国の文化や好みにあわせながら、車体を鮮やかに飾る「グラフィックステッカー」や「3Dエンブレム」を提供しています。タイ、ベトナム、インドネシア、インド、ブラジルに製造拠点を置き、拠点同士がしっかりと連携することでそれぞれが持つ力を最大限に発揮。その技術は自動車や農機、ショベルカーなどの大型建機、さらには電化製品などにも広く役立てられています。



グラフィックステッカー

塩ビフィルムを用いた高い柔軟性で曲面に貼り付け可能。高い耐候性と豊富なカラーバリエーション



3Dエンブレム

曲面追従性に優れ、多彩な色や形状など豊富なバリエーションに対応可能。樹脂成型品には困難なバラ文字にも対応

- オートバイ、自動車の装飾用ステッカー、ラベル、エンブレム製品を東南アジアを中心として世界各国に展開し、海外工場はタイ、ベトナム、インドネシア、ブラジル、インドの5拠点に展開しています。
- オートバイ用3Dエンブレムは、日系二輪車メーカーに販売し東南アジアで約90%のシェアを誇ります。（当社調べ）
- ステッカーカテゴリの売上のうち、グラフィックステッカーの割合は約6割、3Dエンブレムは約4割です。



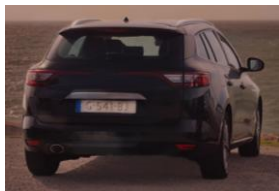
フィルム・シート事業 【再帰反射シート】



世界の道路で、安心と秩序の確保に貢献

再帰反射とは、光が入った方向に再び帰る反射現象のこと。これにより「再帰反射シート」を使用したナンバープレートや道路標識が照らされると夜間でも明るく浮かび上がり、視認性向上に貢献しています。“全天候、24時間、明るい安心を”。

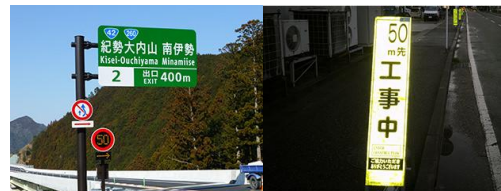
ナンバープレート用再帰反射シート



グラフィック用再帰反射シート



標識用再帰反射シート



58 %
12,219 百万円



カーナンバープレート・トラックなどの車体マーキング・道路標識・案内標識・警戒標識・規制標識・指示標識・補助標識・自転車・全面反射ヘルメット・工事現場の看板・駅名標・広告のサイン・ヘリサインなどに使用

- 20年以上の長きにわたり、自社開発した封入レンズ型、カプセルレンズ型、プリズム型の各種再帰反射シートを一貫生産しています。
- ナンバープレート用再帰反射シートは全世界で約30%、世界第2位のシェアを誇ります。（当社調べ）
- 再帰反射シートカテゴリの売上のうち、ナンバープレート用再帰反射シートは約6割です。



ビル・住宅用アルミ建材

ビル・住宅用の手すりやカーポートなどのアルミ建材



内装建材用プラスチック製品

内装建材製品・電機製品・ファニチャー製品・車輛・機械など幅広く使用



- ビニフレーム工業はプラスチック建具・襖のパイオニアメーカーとして誕生、その後日本のアルミ産業の歴史とほぼ軌を一にして、アルミ建材メーカーとして発展してきました。
- 最近では、超高層マンション用の高強度・高機能手すりがお客様に広く支持されています。

産業プラントの設計・施工・設備

鉄鋼精錬と粉体ハンドリング技術を有し、鉄鋼・化学・環境プラントの設計や施工



- 製鉄プラント
- 電力プラント
- プラント建設工事・保全
- 分析
- 化学・環境プラント
- バルブ

- ダイヤモンドエンジニアリングが永年培ってきた鉄鋼精錬と粉体ハンドリング技術は高い評価を得ており、国家研究開発プロジェクト実証機である酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験設備も受注しています。
- 最近では製鉄・電力分野向けカーボンニュートラルトランジション設備で注目を集めています。

中期経営計画「NCIキラリ2025」



2030年のありたい姿

サステナブルな社会に貢献する、
キラリと光る企業グループ

「ニューノーマル時代のサステナブルな成長」を目指し、
中期経営計画「**NCIキラリ2025**」を推進（2022年度～2025年度）

「キラリ＝One&Only」の追求

キラリと光る技術を究め、
キラリと光る製品を提供することで、
サステナブルな社会に貢献し、成長を実現する



成長戦略

- **世の中をより便利にする** 半導体や電子デバイスの製造工程に採用されるケミカルエレクトロニクス材料。**世の中の安心安全に貢献する** 医薬品原薬やセーフモビリティ市場にて活躍するフィルム材料。当社グループの強みであるこれらの製品を成長ドライバーとし、注力領域を「**エレクトロニクス**」と「**セーフティ**」に定める
- 「**エレクトロニクス**」の戦略市場は半導体・電子デバイス、「**セーフティ**」の戦略市場は環境・ライフ・モビリティとする
- 半導体・電子デバイスなど高成長市場における高付加価値製品への対応力強化による**事業成長**、および環境・ライフ・モビリティ市場でのエンジニアリング技術の展開や強固な事業基盤の確立による**収益性の向上**を実現する

注力領域	エレクトロニクス		セーフティ		
戦略市場	半導体	電子デバイス	環境	ライフ	モビリティ

成長戦略を支える取組み

研究開発体制の強化

SDGs経営の推進

DX施策の推進



外部環境

- 5GやIoTの普及とICT技術の進化による半導体や電子デバイス需要の拡大
- 「CASE」「ADAS」の進展に伴うカーエレクトロニクス需要の拡大
- ニューノーマルでのパソコンやスマートフォン、ゲーム機などに代表される民生需要の拡大



**半導体や電子デバイスの高機能化を支えるケミカルエレクトロニクス材料では、
更なる技術レベルの向上と供給能力の拡充を図り事業規模を拡大する**

具体的な戦略例

- **既存の成長ドライバーへのリソース重点配分**
半導体材料用化学品 電子部品製造用化学品 半導体フォトレジスト用添加剤
半導体用金型クリーニング材 電子部品用バインダー 電子部品用回路基板
- **次世代成長ドライバーの事業化を推進**
次世代プリズム型反射シート 超低金属高純度製品
- **新たな成長ドライバーの創出に向けた研究開発力の強化**
全固体電池向け材料 空中ディスプレイ用プリズムシート



戦略市場

半導体

半導体材料用化学品

(電子・機能製品事業／機能化学品)

半導体フォトレジスト用添加剤

(電子・機能製品事業／機能化学品)

半導体用

金型クリーニング材

(電子・機能製品事業／電子素材)

超低金属高純度製品

(電子・機能製品事業／機能化学品)



電子デバイス

電子部品用バインダー

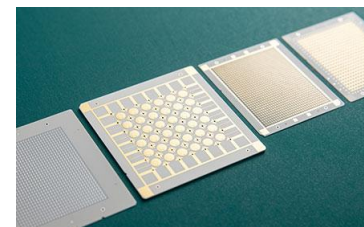
(電子・機能製品事業／機能樹脂)

電子部品製造用化学品

(電子・機能製品事業／機能化学品)

電子部品用回路基板

(電子・機能製品事業／電子素材)



次世代プリズム型反射シート

(フィルム・シート製品事業／再帰反射シート)

全固体電池向け材料

(電子・機能製品事業／電子素材)

空中ディスプレイ用プリズムシート

(フィルム・シート製品事業／再帰反射シート)



成長ドライバー例

既存

次世代

次々世代



外部環境

環境

SDGs、カーボンニュートラル
への関心・要求の高まり

ライフ

世界的な高齢化
健康寿命の延伸

モビリティ

自動運転技術の進化
新興国における交通インフラの発展

フィルム機能の高付加価値化や、
エンジニアリング技術のカーボンニュートラルトランジションへの応用
などを通して、安心安全なサステナブル社会の発展に貢献する

具体的な戦略例

エンジニアリング技術の 展開

カーボンニュートラル
トランジション設備

クオリティオブライフ 向上のための 新製品・新技術の開発

医薬品原薬
医療・化粧品用原料

フィルム・シートの 多機能・高機能化

環境対応加飾成形品
次世代高機能フィルム
ナンバープレート用
反射シート



戦略市場

環境

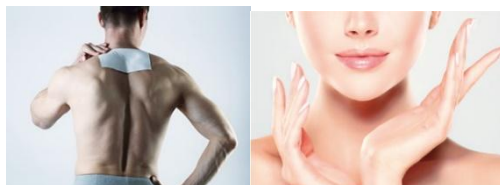
カーボンニュートラル
トランジション設備
(エンジニアリング事業)



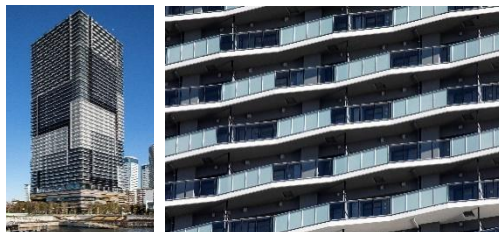
ライフ

医薬品原薬
(電子・機能製品事業／機能化学品)

医療・化粧品用原料
(電子・機能製品事業／機能樹脂)



高強度高機能手摺
(建材関連事業)



モビリティ

ナンバープレート用
反射シート
(フィルム・シート製品事業／再帰反射シート)



次世代高機能フィルム
(フィルム・シート製品事業／フィルム)

環境対応加飾成形品
(フィルム・シート製品事業／フィルム)



進捗状況 財務目標



2025年度業績目標の達成については、米国追加関税措置の影響を見極めた上で、次期中期経営計画期間内での達成を目指す。

単位：億円

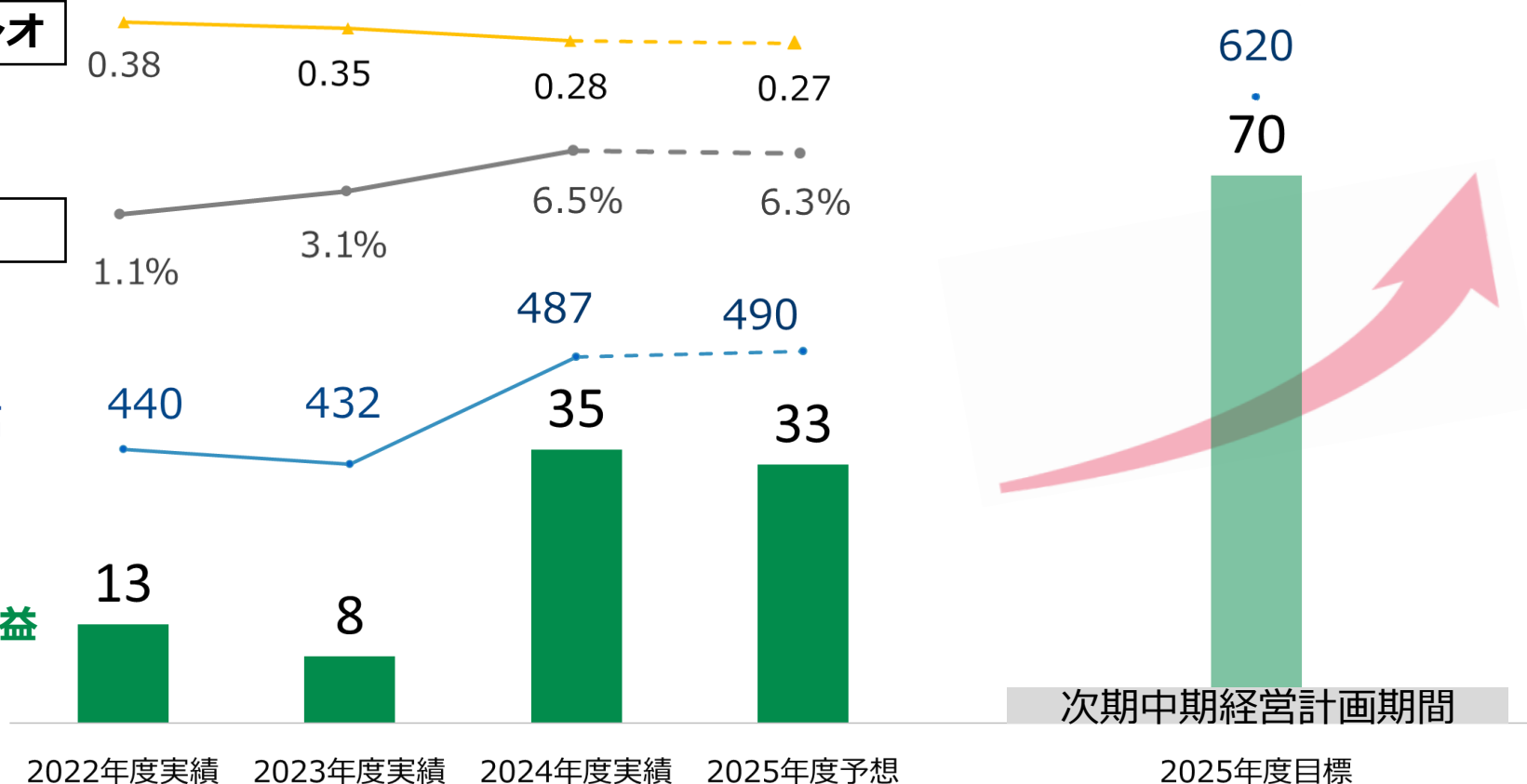
D/Eレシオ

単位：倍

ROE

● 売上高

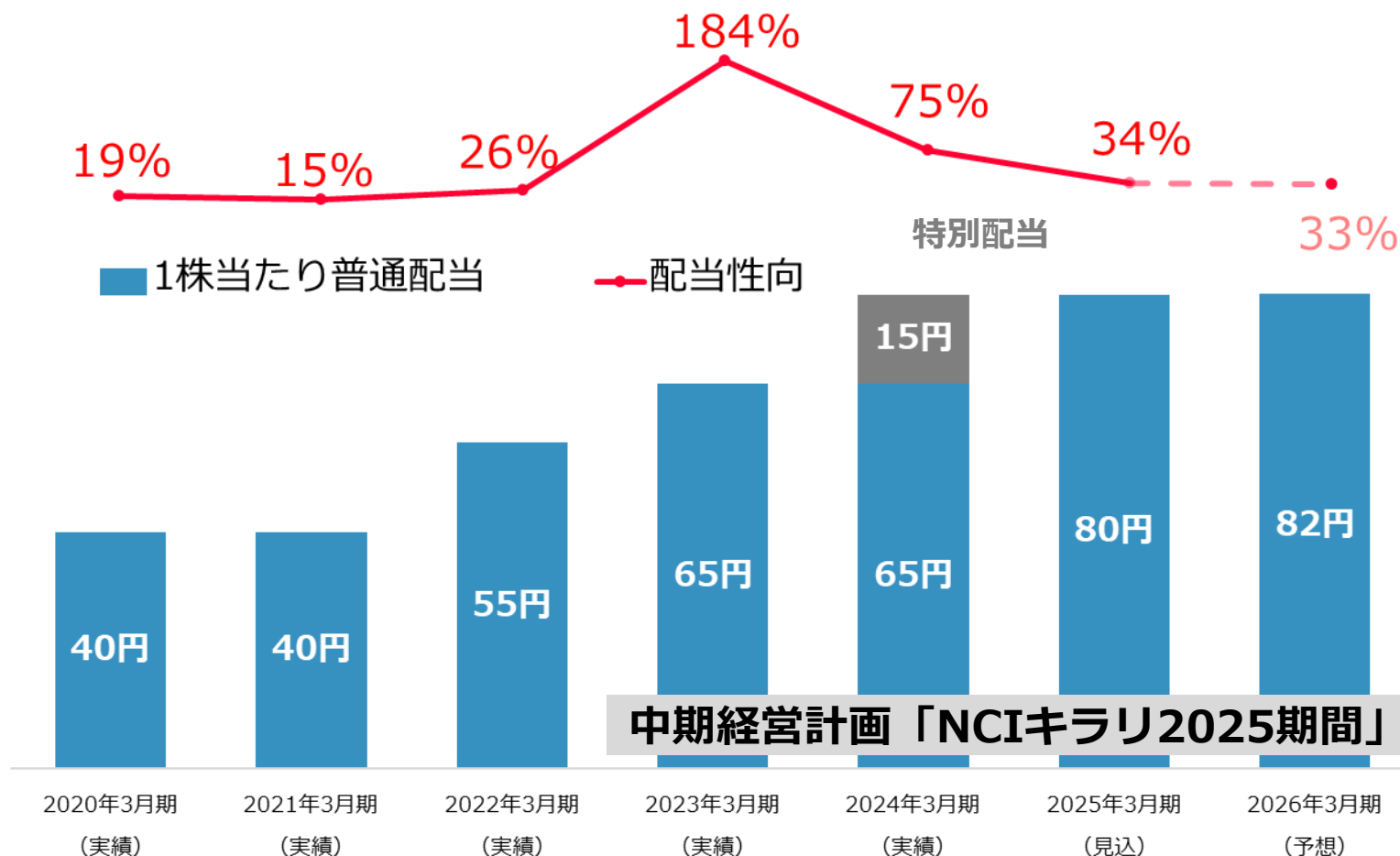
■ 営業利益



D/Eレシオ：0.5倍以下、ROE：12%以上

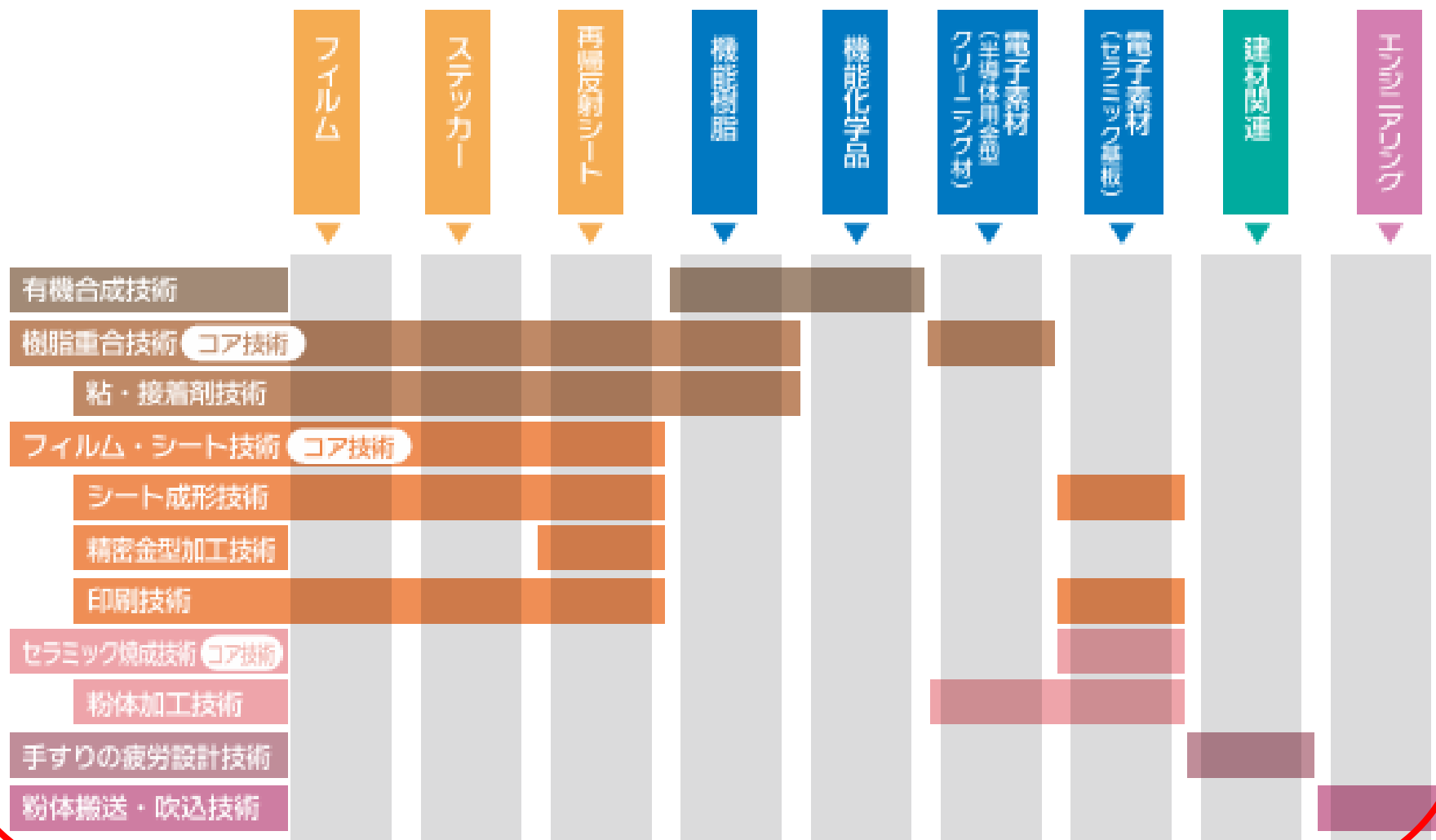


配当性向30%以上を目途に、安定配当の継続を目指す。
2026年3月期は年間普通配当82円を予定。



付属資料

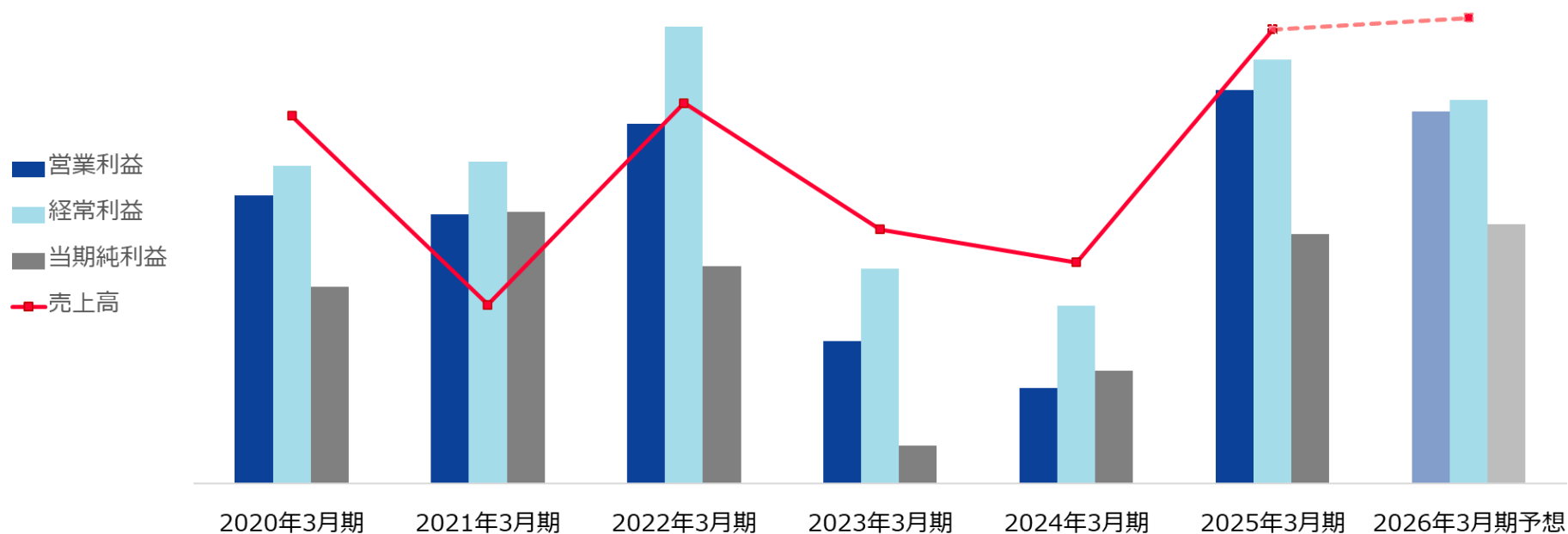
技術の強み



連結業績の推移



単位：百万円



売上高	46,699	42,231	47,003	44,008	43,231	48,727	49,000
営業利益	2,557	2,388	3,192	1,261	849	3,493	3,300
営業利益%	5.5%	5.7%	6.8%	2.9%	2.0%	7.2%	6.7%
経常利益	2,817	2,852	4,055	1,902	1,573	3,761	3,400
経常利益%	6.0%	6.8%	8.6%	4.3%	3.6%	7.7%	6.9%
当期純利益	1,741	2,406	1,930	332	999	2,211	2,300